

日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告

No.167 2022年2月第1週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

前倒しでワクチン接種券を発送

鴻巣市で、新型コロナウイルスの感染確認は1月30日現在1678人となっています。直近1週間で10万人当たり200人を超えるなど深刻な状況です。

十分気を付けてお過ごしください

コロナ対策

鴻巣市では、3回目のワクチンの接種券が1月28日から発送され、2月1日からワクチン接種が始まっています。市は少しでも早めにワクチン接種ができるよう、こんにちははニュースNO165でお知らせした時点より、約2週間前倒しで接種券を発送します。接種会場は37か所です。

日本共産党市議団は、鴻巣市に対し、ワクチン接種に行くための交通手段の確保として、デマンドタクシー・乗合タクシーのチケットを発行するよう要望しました。

〈前倒しになった接種券発送予定〉

2月1日	高齢者の方の追加接種を順次開始
2月4日	昨年7月1日～6日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送
2月10日	昨年7月7日～25日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送
2月18日	昨年7月26日～8月15日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送
2月25日	昨年8月16日～9月12日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送
3月4日	昨年9月13日～19日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送
3月11日	昨年9月20日～10月3日に2回目接種を受けた方へ追加接種の接種券を発送

オミクロン株の感染急拡大のもと 「新型コロナウイルス感染対策に 関する要望書」を提出

(詳細は裏面に掲載)

政府に対し日本共産党は、感染が収まっていた時期に冬の感染拡大に備えて検査能力を大規模に拡充することを何度も要望してきました。また自治体関係者からも高齢者へのワクチン3回目接種を急ぐべきだと

いう声が上がっていたにもかかわらず、岸田政権の対応は後手後手に回り現場は大変苦労しています。こうした中、市民の命と暮らしを守るため、日本共産党市議団は、おりづる・やさしい改革の議員と共に1月28日「新型コロナウイルス感染対策に関する要望書」を提出しました。

梅村さえこ 参議院埼玉選挙区(予)候補

(前列左) 1月11日、浦和駅東口



雨の中、性暴力根絶へフラワーデモに参加

◎2月7日(月)

防犯灯設置要望に向けて 現場調査のお知らせ

地域の方から、防犯灯設置要望に「マミーマーケット生田」向けて、現場調査が行います。暗くなりが暗くなってしまうので、現場調査をさせていただきます。ご参加をお願い致します。

2月7日(月)

19時～19時半

共生病院入り口
元マミーマーケット生田

店前



2022年1月28日

鴻巣市長 原口 和久 様
鴻巣市議会災害対策会議 様

新型コロナウイルス感染対策に関する要望書

おりづる 菅野 博子
やさしい改革 加藤 久子
日本共産党 竹田 悦子
日本共産党 諏訪三津枝

日頃より、市民の命や暮らしを守るためにご尽力されていることに感謝申し上げます。新型コロナの1日の新規感染者数は7万人を超え、鴻巣市では1日の感染者数が74人（1月27日）を数えました。子どもの感染が急増し、小中学校の学級・学年閉鎖・休校や保育園の休園となっています。すでに第5波のピーク時を大幅に上回る過去最多の感染拡大となっています。医療や介護・福祉・消防といった暮らしと安全を支えるエッセンシャルワーカーへの感染拡大は社会活動を困難にさせています。

市民の命・暮らしを守るため、速やかな3回目ワクチン接種の実施とともに検査体制の拡充が求められています。

鴻巣市独自の支援策を行うとともに、国・県に意見を上げることを求めます。

要望事項

- 1 3回目ワクチン接種を加速し、前倒し接種の対象に保育士や教師を加えてください。
- 2 ワクチン接種を促すために、デマンドタクシー・乗合タクシーのチケットを配布してください。
- 3 無症状感染者の発見・保護のため、抗原検査キットやPCR検査キットを事業所や家庭に配布し、市民が日常的に自主採取し検査機関に繋げる方を市独自で実施してください。
- 4 埼玉県で行っている「症状がなく、感染に不安を感じている方」への無料のPCR検査・抗原定性検査の拡充と継続を求めてください。
また、十分に検査キットの確保ができるよう、国・県に強く働きかけてください。
- 5 まん延防止等重点措置により市内事業者は苦境に立っています。一昨年に実施した中小企業者等支援給付金、家賃等支援給付金など事業継続のために事業者への直接支援を市独自に実施してください。
また、国に対し事業規模に応じた持続化給付金の再度の実施を求めてください。
- 6 濃厚接触者と判定されない場合でも、検査を受けられる態勢をつくってください。
- 7 感染力が強いオミクロン株の感染状況について、職員全体で危機感を持った対応ができるよう、感染状況について情報共有する態勢にしてください。